

Legend

榎垣俊幸がモノ申す! ⑬

GoToは他人GOTO



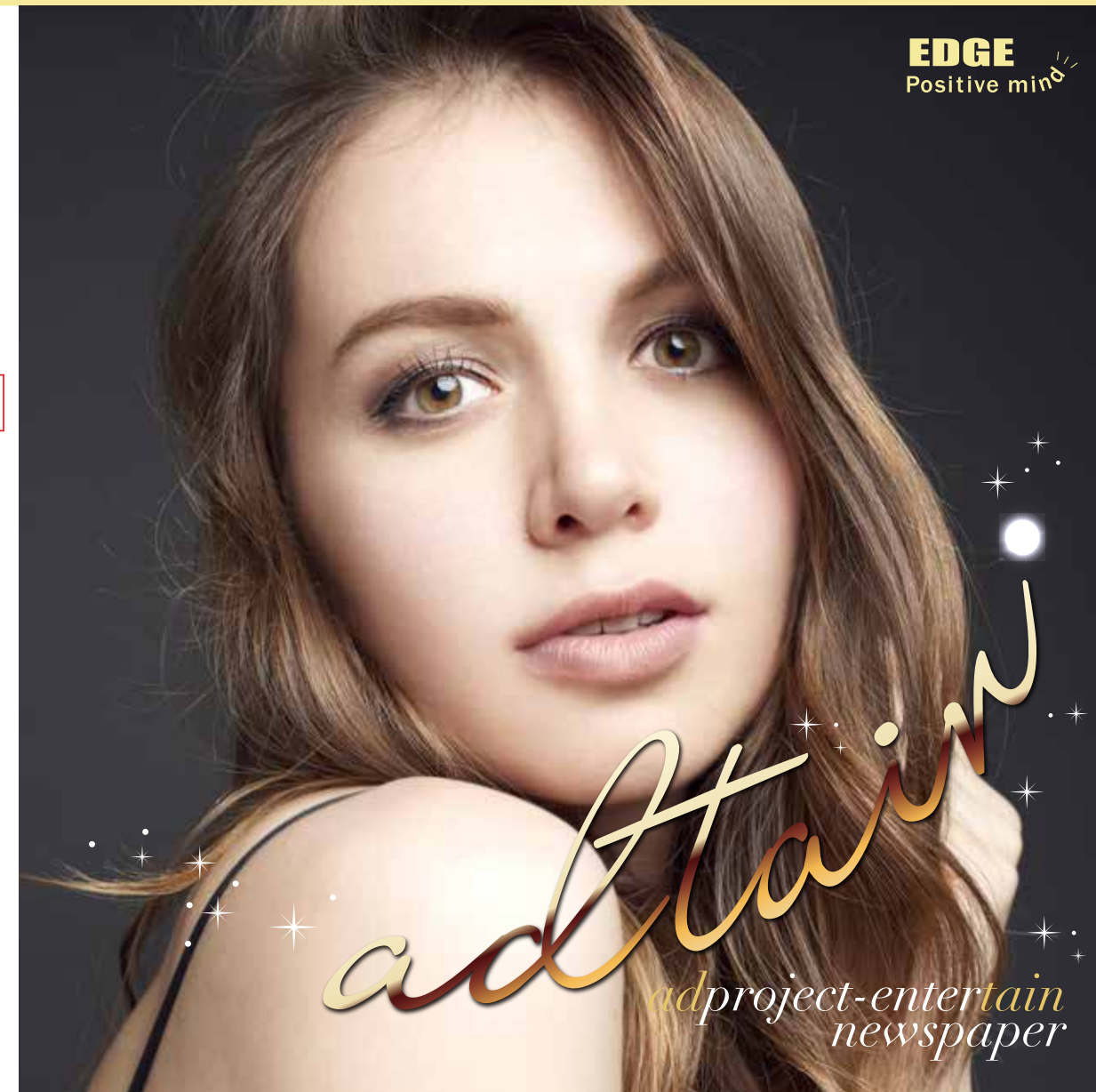
ゼネラルプロデューサー
榎垣 俊幸

「Go To」は基本的に自己責任

このところ、毎回新型コロナウイルスの話題で気が滅入ってしまっていますが、まあ、仕方のないこととして、お付き合いください。

コロナによる影響が未だに収束の兆しが見えない状況で、経済対策の一環として政府が主導する「Go Toキャンペーン」の諸々がすでに行われています。このキャンペーンには、「Go Toトラベル」「Go Toイート」「Go Toイベント」「Go To商店街」の4種類があるということですが、「Go Toトラベル」は国土交通省で、「Go To Eat」は農林水産省、「Go Toイベント」と「Go To商店街」は経済産業省という、端から縦割り行政が正々堂々と施行され、恩恵を受けられない事業者などの格差やシステムに関する混乱が続出しています。こういう状況を見るたびに、「コロナ対策」や「国民のため」という大義名分から、どんどんかけ離れていく政府や行政サイドが、一体何をしたいのか理解に苦しむばかりです。国民のほうの実生活の中で、新型コロナウイルスに対する危機感を実感しており、国がいくような現状であってもなお強硬に「Go To」を推し進めるのは、やはり「利権」やら「族議員らの腹黒い思惑」とかが働いているのでは？と勘ぐりたくもなるのは私だけではないでしょう。

いずれにせよ、コロナが猛威を奮う中において、国民生活にとっての最重要政策として「感染リスク」より「経済」を国が選んだわけなので、仕方ありません。無力で善良な国民としては黙って従うしかないで、感染するかもしれないリスクを賭け、この際、思い切った割引旅行に出かけてみるのも良い人生経験かもしれません。私としては、お勧めしがたいですが、もし、お出かけになるのなら、宿泊施設やその地域での感染対策や医療設備などを十分にチェックしておくことです。国は「Go To」とせっついてはいますが、基本的に自己



モデル: Margarita Chirkova / Height:176cm B:86 W:63 H:93
事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌

責任なので、トランプ大統領のような強靱な肉体でない限り生命の保証は得られません。

それにしても「GoTo」って本当に我々にとってお得なのでしょうか？ネットで調べてみると、利用するには、事業者も利用する我々にもそれぞれに違った手続きが必要だったりするようです。さらに全ての宿や好みの店舗が自由に利用できるわけではないようで、これは店側の問題とされていますが、使い勝手が違和感を禁じえないところがあります。「事前に還付申請が必要だが、申し込み方法によって申請の方法が異なる」と聞いただけでもお役所仕事むき出しで「ああ、めんどくさい！」と感じてしまいます。多分、この事業がスタートした時点で官庁としては役目が終わっているのに、利用勝手の良い悪いは、政治家や役人にとってはもうどうでも良いことなのでしょう。寂しいことです。

よその国と日本では病気に対する考え方が違う

しかし、旅をすること自体は悪くありません。こんな世の中になかったら、どこへでも出かけるべきです。私もかつては世界中に行きました。主に仕事ですが、60数か国を巡りました。

特に記憶している国はブラジルです。3回くらい行ったでしょうか。クライアントのコーヒー畑でコマースシャルを撮ったり、探検ではありませんがアマゾンにも行きました。ブラジル料理の味付けも美味しかった。シュラ

スコとかステーキのような肉料理の味がアバウトで、そういうところも私の体質に合っていました。ブラジルは大きな国で、世界で5番目に面積が広く、日本の面積の22倍もあります。そんなブラジル国内を車で移動したものです。

当時は、博覧会のイベントを世界各地で行っており、そのステージショーのためにダンサー募集のオーディションをやったりしていました。ダンスといえば、サンバでお馴染みのブラジルだというのがブラジルのダンサーを擁護して各所でショーをやったものです。ポルトガルで行われた博覧会など世界中の博覧会を巡り、日本では「つくば博」などでショーをやりました。

今はコロナだけでなく、私自身の健康状態のことも旅行に行くことはできませんが、また行ってみたい国の一つです。

現在はまだ、海外への渡航ができる人員は限られているようですが、よその国に行くことは、たとえコロナ禍の最中であっても病気に対する注意は必要です。よその国に行けば、病気に対する考え方も日本とは感覚が違うこともあり、知らない病気がまだあるかもしれないからです。それが最も怖いことです。

自由に海外旅行ができるようになるまで、様々な問題があるにせよ、今は「Go To」の割引を上手に利用して国内旅行を楽しむのも良いかもしれません。でも、くれぐれも注意するように。特に年寄りには簡単に死ぬからね。(次号へ続く)

Keyword : Bowline knot

9月下旬から雨が続きかと思ったら、急に肌寒くなって来ました。今年は、梅雨が明けると一気に暑くなって夏らしい8月でしたが、残念ながらも夏のようレジャーが楽しめませんでしたね。そして季節はあっという間に秋になり、台風も接近してくるようになりました。台風と言えば、関東地方は昨年2つの大型の台風に見舞われました。千葉市で最大瞬間風速 57.5m/s (歴代 1 位) を記録し暴風による大きな被害を出した台風 15 号と、それにも増して暴風と大雨をもたらした台風 19 号です。被害は関東から東北までの東日本全域に広がり、東日本大震災以来の広域災害となりました。今年2月に、気象庁はこの台風 19 号について「令和元年東日本台風」と命名しました。

右の図は、たまたま PC でスクリーンショットした台風 15 号の雨雲レーダーです。台風の本音が、あまりにもわかりやすかったので何気なく撮っておいたものです。この時、神津島上空は、きつと晴れているんだらうな〜と思いつつ…。防災関連の話題は、これまでも何度か紙面で取りあげて来ました。今回は、いざという時、知っていると知らないのとで生死を分ける？ (ちょっとオーバーかな) くらいの知識を少しだけ掲載します。

もう 35 年ほど前になりますが、小型船舶操縦免許 1 級を取得したことがあります。この 1 級小型船舶操縦士の資格には航行区域の制限がなく、世界中の全ての海域を航行区域にした免許で、乗れる船の大きさは業務艇では 20t 未満、プレジャーボートでは 80ft 未満で重さには制限がありません。ただ残念なことに免許を取得しただけで、乗船する機会が一度もありません (笑)。免許取得時に、海難事故の事例や気象・海象、海図チャートワーク、ロープワークなど多くの知識を学びました。交通事故と一緒に、海難事故も毎年必ず起こります。そういえば、9月に福島県会津若松市内の猪苗代湖で8歳の男の子が亡くなった痛ましいボート事故は記憶に新しいところです。小型船舶操縦士の免許も、筆者が取得した時から、何度か免許区分の変更が行われているので、殆どついていけていませんが、5年に1度は免許更新のための講習と身体検査を受けています。35年前に学んだロープワークで、唯一、体で覚えているのが「もやい結び (Bowline knot)」ですが、これは是非、皆さんにも覚えておきたいロープワークです。どんな場面に遭遇するかわかりませんが、とにかくロープで自分の体を固定する際に有効な結び方になります。体を固定しても、輪が締まらない結び方になります。ロープを引っ張られて、自分の体に固定した輪が締まっていって苦しいですからね。これは、自分の体にもやい結びをつくる場合と、相手 (モノである場合も) に、もやい結びをする場合の両方が出来るようにしておくことが望ましいです。人にネクタイを結ぶのと一緒で、慣れていないと難しいものです。最近ではネットに沢山の画像や動画がアップされていますので、是非、平和な時に覚えておいて下さい。それと最近では、次のようなケースは起こらないとは思いますが、万一、こんな事が起きたらと想像してみてください (以前は実際に起こりえたことです)。例えば、海難事故に遭い、海上で何日か浮遊物に掴まって漂っていて体力も消耗している時、もしくは水害に遭って屋根の上で数時間過ごして力尽きている時、何故か救援に来てくれたヘリコプターから、縄梯子だけが下りて来たとしてみましょう (今は必ず救助してくれる隊員と一緒に下りて来てくれます)。

さて、ここで問題です。あなたならどうやって登りますか？ たいいの場合、掴まっているだけで登る力は残ってないと思いますが、救助される人が自分一人だけではない場合は、そうはいきません。言葉だけで想像することは難しいですが、垂れている縄梯子を普通に登ろうとすると、掴まっている手が支点となって、足が前方に出てしまい、手だけの力で体を支えることになり、特に体力の無い時には登れないのです。適当な写真が無かったので、Amazon の商品写真を掲載していますが、この子供の姿勢から想像してみてください。殆ど手だけで支えているイメージがおわかりいただけると思います。これ

では体重の重い大人で、体力が消耗して腕に力が無かったらどうなるでしょうか、だいたい想像つきますよね。では、どうしたら良いのか。勿論、下で縄梯子が固定されれば足が前方へ出てしまうことはないで、大丈夫ではありますが…。大型船の船長を経験したベテランの一等航海士から、35年前に教えてもらった答えは紙面の関係で次回に。

これは自分の体だと思って、自分側からイメージして下さい。



T O M O K O O ' S R E C O M M E N D

過ぎやすい嬉しい季節がやってきました。この肌寒い季節にぴったりのアーティストといえば、個人的にアイスランドが誇るポストロック・バンド、「Sigur Rós (シガー・ロス)」。ナイスタイミングでフロントマンの「Jonsi (ヨンシー)」の待望のセカンド・ソロ・アルバム『SHIVER』が約 10 年振りにリリースされたのでご紹介いたします。アルバムのプロデューサーを手掛けるのは、ヨンシーと PC MUSIC の創設者である英国の奇才プロデューサー、A.G. COOK。アルバムの幕開けを飾る「Exhale」は、シンセとピアノのコラボレーション、これぞヨンシーだと思わせるゾクゾクと鳥肌が立つのがわかる甘い浮遊感漂うヴォーカルと無限な広がりを感じる壮大な曲。そしてコクトー・ツイインズのエリザベス・フレイザー (嬉しい!!) をフィーチャーした「Cannibal」では、この世のものとは思えない幽玄な雰囲気を感じています。コクトー・ツイインズについてヨンシーは「シガー・ロスの活動を始めたとき、僕らはいつもコクトー・ツイインズと比較されていたんだ。で、僕はそれが気に入らなくてね。誰かと比較されるのが嫌だった。そしたら、2〜3年前ぐらいに、コクトー・ツイインズにハマってしまったんだ。(彼らは) 最高だよ。当時比較されたことも今なら理解できるよ」と面白い、良かった。同じ北欧出身のアーティスト、ロビンがフィーチャーされている「Salt Licorice」も注目です◎



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。

発行: 株式会社エディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

www.adproject.co.jp

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>





ASSOCIATE PRODUCER：黒川和紀

■Title：人々は“体験”を求めている

「広告宣伝費昨年比 80% カット」など、多くの企業がコロナウイルス感染症の影響を受け、消費者とのコミュニケーションの在り方を模索している最中と思います。オンライン化への方向転換が加速する一方、そもそも消費者とのエンゲージメントがまだ高くない企業はどのように商品の良さを消費者へ伝え、購買へ繋げるべきなのか。そんな課題に対し、解決の手助けとなるキュレーションメディア型店舗が今夏、日本に上陸した「ベータ (b8ta)」。

シリコンバレーで人気を誇るテクノロジーショップ。おしゃれなショールーム型の店舗で最新の IoT、ハードウェア製品を展示、販売している。設立 3 年ですでにアメリカの主要都市に 12 店舗、アメリカホームセンター大手の Lowe's 内に 70 店舗を構えている。ベータは、テーブル 1 つほどの広さの区画をメーカー側に月額で提供しています。ここを借りた企業が並べる商品を、消費者が自由に見たり触れたりできる、いわばショールームのような体験型店舗です。ベータが注目を集める理由の 1 つは、オンライン広告の出稿と同等の効果や機能を有する点です。オンライン広告は、ターゲットを広げると費用がかかる一方、狭めるとリーチにくいという長一短があり、広告コストを多くかけられない D2C ブランドにとって費用対効果を出すのが難しい側面があります。それに対してベータは、店内にカメラが設置されており、商品の前を通った人、立ち止まった人、触った人といったように、アクション単位でデータを取得できます。「貴社の商品は 30 代の女性がよく見えています」「貴社の商品を手に取った人は、隣の商品にも同時に興味を示しています」といった情報をメーカー側は得られるわけです。同じくらのコストをかけるのなら、誰に届くかを特定することが難しいオンライン広告よりも、商品をベータに“出展”したほうが具体的な反応を得られるからよい、と判断する企業が活用を進めています。とにかく触れてもらわないことには、その良さを理解してもらいにくいガジェット製品であれば、なおさらでしょう。実際、そういった商品がベータに集まっており、集客フックになっています。また、プロダクトの数が限られる企業にとっては、実店舗を構えるよりも、ベータの一面を間借りするくらいがちょうどいいという事情もあります。ここで押さえておきたいのは、キュレーションメディア型店舗が必要とされている背景です。消費行動は、これまでの“漠然とした消費”から、“意味のあるものを買いたい”という流れに向かっていきます。しかし、情報過多にある現代では欲しい情報を見つづらく、そのためインスタグラムのような SNS を活用し、自分の興味の範囲内から情報を入手する人が増えています。これは、D2C ブランドにとっては届けたいメッセージが多くの人に思うように届かない状態と言えます。その打開策として出てきたのが、キュレーションメディア型店舗なのです。これを 1 つの「広告」と捉えれば、消費者は知らないブランドと出会うことができ、ブランドはスケールアップするきっかけをつかめる。双方にとってメリットのある“媒体”になり得るのではないのでしょうか。人々は“体験”を求めている。

Project 1.

アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～
 コロナ禍で長期間に渡り外出を控えておられる方に癒しやすさを世界遺産二条城を舞台として世界に誇る水族アート展覧会「アートアクアリウム」を開催

EXECUTIVE PRODUCER：岩澤はやと

京都及びアートアクアリウム城実行委員会は、2020 年 10 月 14 日 (水) から 12 月 7 日 (月) まで、世界遺産「古都京都の文化財」を構成する代表的文化財である元離宮二条城にて「アートアクアリウム城～京都・金魚の舞～」を開催いたします。アートアクアリウムアーティストの木村英智氏が手掛ける“アート、デザイン、エンターテインメント”と“アクアリウム”が融合した、日本が世界に誇る独自の水族アート展覧会です。誕生から 14 年目を迎え累計入場者数 1000 万人を超えた今年 8 月には、東京・日本橋で初の常設「アートアクアリウム美術館」が開館しました。京都で今回開催されるアートアクアリウムは唯一の屋外展示で、京都が誇る伝統をモチーフにした作品の中で金魚や鯉が泳ぐ“和の世界”が艶やかに広がります。独自の芸術的な造形美と徹底的な水質管理により澄んだ水が満ちる水槽作品に幻想的な照明、音楽、プロジェクションマッピング、香などの演出が加わり、金魚と鯉が華麗に舞います。

公式サイト：<https://artaquarium.jp/branch/kyoto>



PRODUCER：松延智明

■Event：とある企業の座談会

■Date：9月

■Place：東京都

とある企業の PR 誌制作で、5 人による座談会の取材をしました。中途採用の方々に、前職と比較して、いまの会社の良いところ・悪いところを率直に語ってもらうという企画です。コロナ禍前は、参加者が 5 人であれば、小会議室を使用していました。今回の取材では、20 人が入れる大会議室で、向かい合わせの方との距離は 2m 以上。ソーシャルディスタンスです。隣の方とは透明のアクリル板で仕切り、感染拡大防止に努めての進行となりました。写真は、その時に撮影したものです。感染が拡大していた時期には、オンライン会議システムを使用して打ち合わせや取材を行っていましたが、ちょっと回線の具合が悪いと話が途切れ、同じ話を何度も聞きなおさなければならぬなど、非常に苦労しました。取材で対象の方から話を引き出すコツは、声を出さずに、目を見てうなずくこと。オンラインでは、カメラ非表示で行われることもしばしばあり、その場合、うなずきは使えません。オンラインは便利一方、臨場感や微妙なニュアンスを受け取れるものには向きと課題があるのだと、改めて思いました。

とすると、やはりイベントなどで直接お客様とふれあうことは、意味のある重要なことと言えますね。早くワクチンや治療薬が開発されるなど、風邪やインフルエンザと同様、うまく新型コロナウイルスと共存できる社会になるってほしいものです。

繁華街に出ると、少しみなさんの足取りが戻ってきているように感じます。Go To トラベルを利用する人は開始から 1 か月で 200 万に達したというニュースがありました。外出や娯楽を求めているいまこそ、イベントを開催してお客様に楽しんでいただけるチャンスということです。早くみなさんのお手伝いができる日が来ることを祈る毎日です。



Project 3.



週刊バイクTV@チバテレ

PRESIDENT：檜垣 俊吾

東京にいと今までチバテレを全く見たこともなかったが、今年 4 月より弊社タレントがレギュラー出演することとなり、毎週のように千葉へ行く日々が続いている。「週刊バイクTV」という 2004 年から始まったバイク番組で 16 年間も続いているという・・・。そんな長寿番組のメイン MC を続けてこられた方が、局の方針で急にガラッと変わるようになったタイミングでの出演となったことで、視聴者の中には前 MC を惜しむ声とともに、新メンバーへの風当たりが強いものもあった。多少は想定していたものの、ネットや SNS に書き込まれる言葉の凶器を目の当たりにした。そんなスタートから番組放送も半年が経ったこともあり、今はイベントに出演する先々で「週刊バイクTV いつも観てるよー」と言われるようになり、ホッとしている。ロケに立ち会っていると、時々で地方ローカル局だと思ふ場面も多く、普段映像を制作する立場からすると、クオリティーに口を挟みたくなる撮影である。我々が映像を制作する際、クライアントとの共通意識は「作品」を作るという意識で業務に臨むのだが、この番組制作プロダクションは、向上心が低いというか、まさにこなしの仕事である。仕事を「やっつける」、「さばく」、「片づける」という気持ちでやる人間からは、素晴らしいものは生まれてこない。今の働き方改革とは逆行する考え方もかもしれないが、我々の仕事は、納得いくまでこだわって推進してほしい。



北海道の逸品を求めピンクカブで出発

第 1 プロジェクト 木村 亜美

10 月上旬、北海道に到着して、さっそく“ホンダドリーム小樽”へ直行。ホンダのバイクレンタルサービス『HondaGo バイクレンタル』を利用して、北海道ツーリングを楽しんできました。レンタルしたのは Honda スーパーカブ 110・天気の子 Ver.。鮮やかなピンク色が可愛いでしょ♪今回の旅の重要なミッション、それは『最高のウニ丼が食べたい!』。という訳で向かったのは、北海道小樽市の三角市場にある『滝波食堂』。山盛りの“ウニ丼”が最強に美味しかった。ウニの味がすごく濃厚で、とろける味わいが忘れられません。イクラと一緒に食べると、これがまた絶品で。悶絶して言葉が出ないほど美味しさに感激しちゃいました。食事の後は小樽の街をツーリング。いまだコロナ禍ということもあり、観光地の入道りは例年より少ないながらも、少しずつ活気を取り戻している雰囲気も感じられました。レトロなレンガ造りの倉庫が並ぶ小樽運河は雰囲気があって好き。シックな大人雰囲気のある街並みに、鮮やかピンクのカブが妙にマッチして写真映え！気軽に手軽にレンタルできて、ツーリングや写真撮影まで、“旅先でバイクと一緒に”を楽しめる HondaGo バイクレンタルの便利さを改めて実感しました。ちなみに HondaGo バイクレンタルの利用方法は、木村亜美の YouTube“あみ TV”で詳しくご紹介しているのでぜひ観てね！



弓狩 章裕

■Title：With コロナで備蓄が不可欠な防災グッズ

日頃から準備しておきたい防災対策ですが、昨今では新型コロナウイルス感染拡大防止の為、避難場所についても「3 密」を避けつつ確かな避難をすることが重要となっています。どのような防災グッズを用意すべきなのか？ということで防災グッズの基本を少しご紹介したいと思います。新型コロナウイルス対策が十分に行われていない従来の避難所では「換気が悪い空間（密閉空間）」・「人が密集している（密集場所）」・「近距離で会話や発声が行われる（密接場所）」といったような 3 つの密を満たす傾向があるとされ、集団感染が発生するおそれがあります。そのため、自然災害に備えて新型コロナウイルス対策を導入した避難所運営を目指していかないとダメなのですが、具体的にはフィジカルディスタンス（身体的距離）の確保や、避難所の収容人数を十分に減らす必要があり、避難所だけでなく、自宅や知人宅、ホテル・旅館などへ分散して避難する分散避難が推奨とされています。災害情報などをきちんと確認した上で自宅が安全であると分かっていたら、在宅避難を選ぶことができますが、そのためには防災グッズを事前に準備しておかなければなりません。具体的にどのような防災グッズを用意すれば良いのかですが、阪神・淡路大震災を機に設立された人と未来防災センターが発表する「減災グッズチェックリスト」によれば、防災グッズは以下の 3 段階に分類されています。

- 【0 次：非常時に携帯したい防災グッズ】
飲料水 (500ml)、お菓子などの携帯食、懐中電灯、緊急用品セット、身分証明書、簡易トイレなど
- 【1 次：被災後の 1 日を過ごすための防災グッズ】
飲料水 (1.5L)、非常食、ヘルメット、軍手、ブランケット、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、予備電池など
- 【2 次：ライフラインの途絶で数日間を過ごすための防災グッズ】
数日分の飲料水、毛布、カセットコンロ・ボンベ、ドライシャンプー、避難用・帰宅支援用の地図、ローソクなど

段階が上がるほど必要な防災グッズも増えていき、例えば数日間、避難する場合は 2 次だけでなく 0 次と 1 次の防災グッズも用意しておく必要があります。一般的にガス・電気・水道などのライフラインの復旧や人命救助が落ち着くまでに 3 日程度かかると言われているので、大規模な災害によって避難が長期化する事態も想定して、3 日分を最低限とし余裕をもって 1 週間分の防災グッズを用意しておくことが安心です。また、上記に加え新型コロナウイルスの被害を最小限に抑えるためにも感染拡大防止グッズを事前に準備しておきましょう。

- 【避難場所を清潔にするための衛生用品】
マスク、除菌ソート・アルコール消毒液・ハンドソープ・石鹸・体温計・上履き・スリッパなど



PRODUCER：岩下 信而

■Event：高田賢三さん／リアル展示会

■Date：2020年10月

■Place：Paris, Yokohama

高田賢三さんの計りが辛い。エスニック・テイストはもとより、赤にピンクを合わせる着こなし、ビミョーなブルーの発色の愉しみ、ボタニカル (花柄) の遊び方、全て KENZO から教わった。「傷だらけの天使」で BIGI が全盛の頃も、男も女も全身黒ずくめで、霞町界隈に屯して飲んできていた頃も、KENZO が一番お酒落だった。ご冥福をお祈りします。ようやく、対人形式での企業展示会 (ビジネスショウケース) が再開されるようになり、6 月に予定されていた「カフェ喫茶ショー」が、10 月 5 日から 7 日まで、パンフィコ横浜で開催された。ほくは、弊社の大切なお取引先の 1 社 UCC グループのコーヒーマシンのブースを担当しました。ブース運営に加え、コロナ禍 (嫌なワードですね) でご来場できない方々へ、展示会終了後にブースの紹介映像を収録して、翌日配信するという新たな試みを実践しました。限られた予算と編集時間、すぐに浮かんだのは「ワンテイク撮り (ノーカット撮影)」。残念ながら今回は通常のワンカットずつの撮影になりましたが、ほとんどぶっつけ本番にも関わらず、無事納品できました。イベントの臨場感を演出するため、いつかはワンテイク撮りに挑戦してみたい。ワンテイクといえば近年は、「カメラを止めるな」や「1917 命をかけた伝令」なのかもしれませんが、映画好きにはやはり、ヒッチコックの「ロープ」。ほくがはじめて観たのは 40 年以上前、「三鷹オスカ」か「五反田名画座」でのヒッチコック 4 本立て。Tsutaya も Amazon Stick もない時代には、名画座は本当にありがたかった。



1948年作品

「ロープ」は、後に「ワンテイク風」演出であったことがリリースされたのだが、冒頭に真犯人を教える、今でいうとコロポ (古畑) 風、さらに実際の時間と物語が同時進行していく、これも今でいえば「24」風演出を、70 年も前に用いているヒッチコックは本当に凄い。ほくは自分が裏方稼業なので余計に感じるのかもしれないが、バックヤードの仕掛け、今でいう「ネタバレ」は必要ない。なぜなら映画好きは、スクリーンに映るものだけがすべてだから。映画好きにとっては「目に見えるものが真実だからね、ダー子」、では次号、Ciao!



テレ東感満載の弊社太田ディレクター

Project 4.